

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 豊橋市立天伯小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒441-8122
愛知県豊橋市天伯町高田山 136 番地の 1

E-mail : tenpaku-e@toyohashi.ed.jp

Website : http://www.tenpaku-e.toyohashi.ed.jp

児童生徒数：男子 142 名 女子 157 名 合計 299 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (地域の歴史・産業)

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

<研究主題 >

地域に誇りと愛着をもち、すすんで関わる天伯っ子の育成

～「環境保全」「地域の歴史と産業」の学習を基盤にしたESDの推進を通して～

<研究1年目>

以下のように、「環境保全」「地域の歴史と産業」のESDの視点に立ち、体験活動を生かした問題解決的な授業実践に取り組んだ。

| | ESD 視点 | 重点単元 | 活 動 内 容 |
|----------------------|-----------------------|----------------------------|---|
| 1年 生活科 | 地域 を知る | 「あきって きもちがいいね」 | トレーニングセンターでどんぐり拾いを行って季節を味わい、自然への関心を高めた。また、どんぐりで作った作品をセンターで飾っていただき、地域の人々に見ていただいた。 |
| | | 「天伯保育園との交流会」 | 天伯保育園の園児を招き、手作りおもちゃや1年生の学習の紹介をした。学習への意欲が高まり、下学年への接し方や、自分の役割を果たす姿勢が身についた。 |
| 2年 生活科 | 地域 にふれる | 「生きものランド」 「天伯のたから新はっけん」 | 地域の自然や施設等の見学や、地域の人へのインタビューを通して、人と関わり、天伯のよさに気づいた。 |
| 3年 総合 社会 | 地域の 産 業に ふれる | 「農家の仕事」 「スイカ・大根を育てよう」 | 校区の中田園芸や豊橋種苗を見学し、調べ、スイカや野菜づくりについて学んだ。天伯の農業のよさについて学んだ。 |
| 4年 総合 社会 | 環境 保全 | 「八田平川をふるさとの川に」 | 八田平川の環境調査をし、清掃やEM菌放流をすることで、環境保全の難しさや自然を大切にすることの重要性について理解を深めた。 |
| | | 「ごみのしよりと利用」 | 地域にある資源化センターの見学や調査を通して、環境問題に関心をもった。 |
| | 地域の 歴史に ふれる | 「天伯原の開拓」 | 開拓資料館を訪問し、地域の方から開拓当時の苦勞を聞いたり、写真や道具等の資料を見たりして、天伯原の歴史を学んだ。 |
| 5年 総合 社会 行事 | 地域と 共に 取り組 む | 「一粒の命を大切にしよう」 | PTA とともに、実習田で田植え・草取り・稲刈りを実施した。また、脱穀・粃すりを一部手作業で行うなどの勤労体験を行った。 単元の終末には、全校行事である「感謝の会・もちつき会」で、収穫したもち米を使用した。日本の伝統や食文化を見直すとともに、地域の方のボランティア活動に感謝の気持ちをもちつことができた。 |
| 6年 総合 社会 | 地域 の人 にふれる | 「ふれあいの輪を広げよう」 | 単元の導入では「車椅子の方からお話を聞く出前授業」、展開では「車椅子体験後にアドバイザーから指導をいただく出前授業」、終末では「校区内の老人ホーム訪問」の学習を組み立て、地域に目を向け、自分たちのできることに気づくことができた。 |
| | | 「長く続いた戦争と人々のくらし」 | 日本の戦争の様子や豊橋空襲の様子を聞き、戦争の悲惨さを知ることができた。経験者に語っていただくことで、「戦争を繰り返してはならない」「伝えなくてはならない」という思いを高めることができた。 |
| にに 生単 | 地域 の人 にふれる | 「天伯ってすてきだね」 | 天伯小の校区を、地図記号や地図・写真を用いながら、どのような街なのかを知る活動を行った。その学びから、自分の住みたい街を作る活動につなげることができた。 |

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）